

ツリガチ!

TSURI GACHI

★鹿島さんを祝福するヨッシー

★ヒットしたら竿を海面に向けてゆっくり巻き上げるのがスロジギのやりトリ

▲釣りは日立滑川沖の水深50メートル前後に点在する魚礁周りにスロジギ初挑戦の板倉友基さんは4.7キロを釣り上げた

▲当日のヒラメのアベレージは1.5キロ前後
▶活性が高く、ジグを丸飲みするヒラメも

▲当日はグリキン/スリムボーダーホロでヒラメがよく釣れた

茨城県日立沖のスロジギ

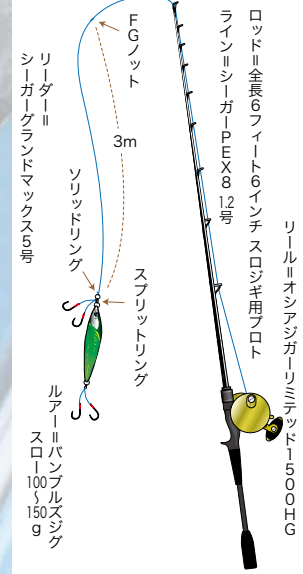
撮影/文◎本誌編集部

★鹿島一郎さんが釣り上げたヒラメは当日最大6.5キロ。ヒットルアーはパンプルスジグ スロー150グラム、グリキン/スリムボーダーホロ

◎船長の差し出すタモに大ヒラメが入った瞬間、ガッツポーズ

スロジギのタックル

ヨッシーのスロジギタックル



▲ヨッシーはジグの重さ(100~150グラムと180~200グラム)で使い分けられるよう2タックルを用意。当日は100~150グラム対応のタックルを使用



▲パンプルスジグ スローは100~250グラムまで6種、カラー全8色をラインナップ。アシストフックは標準装備

8月下旬に釣行したのは茨城県日立会瀬港の第二海神丸。森敬船長が目指した釣り場は港から北へ45分ほど走った日立滑川沖の水深50メートル前後の魚礁周り。ここで釣れるのはイシナギ、クロナイ、ヒラメ、サワラ、カンパチ、イナダ、ワラサ、ホウボウなど。何が食ってくるのか分からないので狙いは絞らず、その場所で釣れる魚をターゲットとして楽しむことにした。

★底から少し浮いたところでクロソイが食ってきた

ポイントよく釣れたね



▶イシナギが浮上し、森船長が素早く取り込む



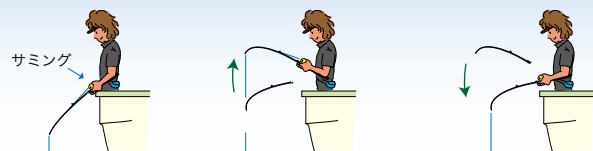
★100グラムのジグで底付近をじっくり誘うとイシナギが食ってきた



スロジギの釣り方イメージ

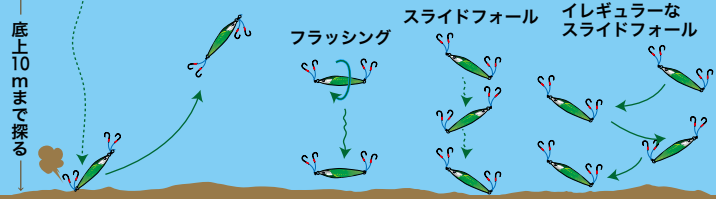
◎シャクリ幅50センチで1回シャクリごとにハンドルを4分の1～2分の1回転と小刻みに巻き、毎回ジグを持ち上げてフォールさせる。青物も釣れるので底から10メートル上まで誘ったら底を取り直す。パンブルズジグ スローはフラッシングやスライドフォール、イレギュラーなスライドフォールがランダムで発生し、ターゲットを誘う。

◎スロジギは狭い範囲をじっくり探るのに適している



- 1 投入し、着底したら糸フケを取る
- 2 ロッドを海面から並行に構えて50cm幅でシャクリ
- 3 ロッドを元の位置に戻しつつ、リールのハンドルを4分の1～2分の1回転させる

【ジグのフォールイメージ】



▲イナダを釣り上げて満足の板倉さん
◀青物が回遊すると同時にあちこちでヒットすることも



▶乗りに乗っている鹿島さんはワサも上げた



▲同船した小林さんに小型のイシナギ

ジギング
ビギナーの方にも
オススメできる
釣りだってこれが
確認できたよ

◎シャクってジグをアピールし、フォールで食わせる

ポイントに到着すると1流し目からアタリがあり、2流し目には早くも1キロ級のヒラメがヒット！これを皮切りにヒラメラッシュに突入、大中ヒラメが乱舞、船上は大盛り上がり。

日が高くなってからはさらに勢いを増し、ヒラメに加え、イナダやワサ、イシナギ、クロソイなども釣れ上がり、文句なしの釣れっぷり。日立沖の豊かな海と、スロジギのポテンシャルを知るには十分な釣行となった。

#船宿インフォメーション

茨城県 日立会瀬港 **第二海神丸**
☎090-1887-7753
(詳細は巻末の情報欄参照)
●料金=スロージギング予約乗合(水付き)、
料金は電話にて確認を ●備考=5時出船、
一つテンヤマダイ&タイラバへも出船



▲船は港の南側奥の岸壁に停泊
◀森 敬船長とヨッシー



◀良型のクロソイも上がった